

野党共闘で終盤白熱

最終日の30日、全国各地で最後の演説を行い、支持を選び直前に岸田文雄選舉の顔に替えて臨んだ与党は、政権の継続を主張した。衆院選で初めて、候補者を一本化した立憲民主党中央本部選舉が野党側は、9年間続いた自民党政権からの変化を訴えた。野党が五角筋に戦う選挙戦が野党が、選挙戦は白熱化しており、選挙戦は白熱化した。

自公危機感強め 首相 次々 振戻へ

井町駅前で最後の演説を行った。安政政権では「最後は秋葉原」が恒例だつたが、田舎政権では「岸田力丸」を打ち出した。「いたいの思い」をじこませた。首相は「大型の経済対策をしっかりと用意し、コロナ対策もしっかりと進めさ

機で重点区を中心に移
交を「重点区」に指定する約30選
は28、29日にチャーチ
開闢」の発展等に接する
を「重点区」に指定する約30選

とりわけアーバーし
は、特種と自負する「国民
力」を演説で宣傳し、
「いつつたどとい一岸
を握て、『丁寧
治を進めてよく約束の
こと』」のノートを
しめていく。このノートを
た。説明責任を避けて
なこと批判を受けた安
菅前政権の遅い出
しでし。
ただ選舉戦が進む
るに伴は、変遷した。
24日、参院静岡選挙
補欠選挙で「勝つて
り前」と言われる中
、党幹部が敗れる。
やがて幹事長には、
部に集まつて情勢を協
議する。本化した「
候補者を

一方、自民と連立を組む公明党の山口那津男氏は、「ははは」の前に打ち出訴えを展開した。30日には東京都大田区で「子どもたちを社会全体で応援しよう」というメッセージとして、高校生以下の子どもに一人一律10万円相当の給付を実現すると言った。立憲が政権を取った際の公明との「闇外協力」について、「不安定だ」と不透明な野党に政権を任せたわけにはいかない」と支持を呼びかけた。

公明は、東京12区に注力した。山口氏も公示後、北海道に渡った。終盤の2

29日の福島市内の記者会見で、「共済会距離が近づいてしまった」と非常勤会員を語った。今回、野党を出せなければ、来年の参院選に向けて投票に真直しを迫られる可能性がある。

連合の説教を受ける国民民主の玉置義郎代表は30日の街頭演説で、「野党も変わらなくてはいけない。单なる反対、批判が続いたら、それが生きて、国民の信頼を得られない」と訴えた。

一方、日本維新の会は地盤の兵庫県で、松井一郎代表は30日、兵庫県大阪を回り、時代に合った社会をめざす改革を提唱した。これまでの「岩盤規制」に「六次会員制」を設け、「会員制」を訴えた。(南雲 大由佳)

掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。

Copyright The Asahi Shimbun Company. All rights reserved. No reproduction or republication without written permission.